

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600182
事業所名	グループホーム ライフケアーつ山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	積極的に地域行事に参加し、ホームが地域に根ざした存在になるように地域住民への理解を求めている。夏祭りのチラシを配布して、地域住民の参加を呼び掛けたり、敬老会にも地域の人を招待するなどして交流を図っている。ボランティアでは龍伸会の盆踊り、ハーモニカ演奏を迎え交流に努め、また、中学校の職場体験の受け入れも実施している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議はいきいき支援センター職員、薬剤師、民生委員、利用者家族、地域の人等の参加で年6回開催され、意見交換、アドバイスを受けて運営に取り組んでいる。参加者からの提案で、外に向けての活動ということで、ベランダで五平餅を作り、地域の住民と関わっていけるように取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	区役所の福祉課の担当者にはホームの現状を周知して貰えるように電話や直接出向いている。いきいき支援センター職員とは区の介護フェスタやボランティアの依頼の件で相談し連携が取られている。市主催の研修に職員は参加し、参加者は報告書を出すことで、職員間で共有されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	日々の支援の中で利用者の要望、思いを聞き取り、職員間で話し合っってホームの運営に努めている。家族とは面会時のコミュニケーションを大切にしている。毎月郵送されるホーム便りと個別の便りは家族の楽しみとなっている。また、桜まつり、紅葉見学、おこしもの作り、誕生会等家族の参加協力が得られ、家族同士の交流も図られている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	×	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。